

第53回 JALC 母乳育児支援学習会 (ハイブリッド開催)

日時：[現地会場+ライブ配信] 6月28日(土) 13:00~18:00、6月29日(日) 8:30~17:15 / [オンデマンド配信] 7月25日(金) 10:00~10月10日(金) 15:00

会場：AP 浜松町(東京都港区)

テーマ：情報化社会における適切な母乳育児支援とは

プログラム：

[1日目]「現在の母乳育児率をふまえて、国際標準の再考」「エッセンシャルガイドを用いた母乳育児支援と10stepsの実践」「人工乳の補足について—いつ判断？どれくらい？どうフォローする？」「妊娠前から考える母乳育児：プレコンセプションケアの新しい視点」

[2日目]「医療従事者が行う妊娠期の母乳育児支援」「父親への母乳育児支援」「赤ちゃんの生理と睡眠」「補完食・卒乳について」「災害時の母乳育児支援(理論・実践)」
「コミュニケーション・スキルの意義と活用—今の世代にとって心地よい授乳/育児支援を目指して」

※内容は変更になることがある

対象：母乳育児を支援する専門家(助産師、看護師、保健師、医師、歯科医師、栄養士、保育士など)、学生
その他母乳育児支援に興味のある方

参加申込：詳細は4月中旬に、事前申込は4月下旬に JALC の公式サイトより案内

URL <http://jal-net.jp>

第53回全国教育研究大会(札幌 2025)

日時：7月26日(土)~27日(日)

会場：ホテルライフオーツ札幌(札幌市中央区)

札幌市中央区)

テーマ：自分らしく生きる未来を拓く性教育—性の現代的な課題への対応を踏まえた指導の在り方

内容：「学習指導要領に基づく性に関する指導(仮)」岩田悟(文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課健康教育調査官)／講演「第9回青少年の性行動全国調査の結果—デートDV被害や性的被害の実態と特徴」古村健太郎(弘前大学人文社会科学部准教授)／講演「性に関する教材・指導方法の工夫を考える(仮)」野津有司(全国性教育研究団体連絡協議会理事長、筑波大学名誉教授)／分科会Ⅰ(発達段階別)「幼児期」「小学校」「中学校」「高等学校」「特別支援教育」／分科会Ⅱ(課題別)「性別違和」「性被害・性暴力」「性に関する個別指導」／講座「性教育の外部講師のためのスキルアップ」(基本コース)

対象：教職員(保育園、幼稚園、こども園、小・中・高・特別支援学校、専門学校、大学等)、保健・医療関係者(医師、看護師、助産師、保健師等)、社会教育・福祉関係者、教育行政関係者、保護者、学生、他

定員：300名

申込締切：7月14日(月)

※大会当日の参加申込みは会場受付で(その場合は定員の関係で、希望する分科会等に参加できないことがある)

申込方法：下記の URL よりインターネットで申し込む

URL <https://forms.gle/erDXkjMiX2KhUJPE7>

※電話やFAXでの申し込みはない。
大会参加証・参加費領収書は当日の会場受付で受け渡し

参加費：両日参加：7000円(学生

2000円)、1日参加：4000円(学生2000円)

問い合わせ先：全国性教育研究団体連絡協議会事務局長 福迫潮

Eメール zenseiren@galaxy.ocn.ne.jp

URL <https://zenseiren.org/custom6.html>

日本地域看護学会 第28回学術集会 (ハイブリッド開催)

日時：[現地会場] 9月6日(土)~7日(日) / [オンデマンド配信] 9月6日(土)~10月31日(金)(予定)(学術集会専用プラットフォームにて)

会場：日本赤十字看護大学広尾キャンパス(東京都渋谷区)

テーマ：地域共生社会のこれから—全ての人がつながりあう社会をつくる

プログラム：会長講演：石田千絵(日本赤十字看護大学地域看護学教授)／基調講演1「地域共生社会の未来と可能性」石田昌宏(参議院議員)／地域共生講演「つなぐ力：地域共生社会の実現に向けた持続可能なコミュニティづくり」糟谷明範(株式会社シンクハピネス)／シンポジウム1「佐久市における地域包括ケアと地域共生社会のこれから」細萱信予(佐久総合病院)、坂井理恵(佐久総合病院訪問看護ステーション)、吉江紀子(佐久市福祉部高齢者福祉課)／2「渋谷区の母子保健と地域共生社会のこれから」小内亜弥子(渋谷区保健所、鈴木愛菜(こしげや)／黒須里恵(渋谷ファクト)／特別鼎談「在宅看取りと地域共生社会のこれから」秋山正子(白十字訪問看護ステーション)、鈴木央(鈴木内科医院)／教育講演1「地域高

高齢者の暮らしへの理解を深める教育の仕組み」横井郁子（東邦大学）／研究セミナー1「質的研究：現象学的アプローチ」細野知子（日本赤十字看護大学）／2「量的研究：NDBオープンデータの活用」佐藤潤（元厚生労働省）／特別講演1「雨水と地域共生社会」村瀬誠（株式会社天水研究所）／地域共生特別セミナー1「地域看護と地域共生社会のこれから」川添高志（ケアプロ株式会社）／2「ビュートゾルの取組からみた地域共生社会のこれから」吉江悟（Neighborhood Care）／3「オマハシステムと地域共生社会のこれから」藤野泰平（みんなのかかりつけ訪問看護ステーション）／パネルディスカッション「目に見えない障害を持つ当事者と家族」谷口美穂（日本赤十字社医療センター地域看護CNS）、伊藤麻紀（日本赤十字社医療センター慢性看護CNS）／教育講演2「歴史研究でひもとく保健師教育のはじまり」川原由佳里（日本赤十字看護大学）／3「災害時の情報支援」宮川祥子（慶應義塾大学）／市民公開講座「地域共生社会に向けてのエール—今とこれからの自分の生き方」宮崎和加子（だんだん会）、和田行男（株式会社大起エンゼルヘルプ）／「オンライン教育講演」1「認知症と地域共生社会」山口潔（ふくろうクリニック等々力）／2「『今までのALS観』から『新しいALS観』へ」鈴木諭（日本ALS協会栃木県支部）／3「在宅歯科診療を通じた地域包括ケアと地域のこれから」五島朋幸（ふれあい歯科ごと）／4「東日本大震災直後から中長期支援に至る保健師活動—陸前高田市を基盤に」佐々木亮平（岩手医科大学）／5「健康危機に向けた保健師と訪問看護師の協働」永野智子（元熊本市保健師）、木村浩

美（熊本県訪問看護ステーション連絡協議会）／6「産科医療特別給付金が生まれるまで—保護者の声が制度を動かす」永島祥子（産科医療補償制度を考える親の会）／7「地域で暮らす教科書を越えた重症児」障害を持つ子を育てている保護者20組／8「地域看護学及び関連科目におけるGIS活用の有用性」堀池諒（大阪医科薬科大学）／特別企画「地域共生社会を楽しく学び、体験する」1. 災害危機管理を深める部屋「地域を守る力を育む：災害危機管理を終日学ぶ」／2. アートでつながる部屋「表現と共感の場：看護師によるアート展示と障害について語り合う」／ほか

参加登録受付期間：〔前期登録〕6月30日（月）まで、〔後期登録・当日会場受付〕7月1日（火）～10月31日（金）

登録方法：下記Webサイトの登録フォームより

URL <https://procomu.jp/jachn2025/registration.html>

参加費：〔前期登録〕会員1万円、非会員1万2000円、〔後期登録・当日会場受付〕会員1万2000円、非会員1万2000円、学生（院生を除く）2000円

※学生は登録時に学生証のコピーを提出

問い合わせ先：運営事務局

〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館9階 株式会社プロコムインターナショナル

TEL 03-5520-8821

FAX 03-5520-8820

E jachn28@procom-i.jp

URL <https://procomu.jp/jachn2025/index.html>

第14回日本公衆衛生看護学会学術集会

日時：12月13日（土）～14日（日）／オンデマンド配信を2026年1月31日（土）まで予定

会場：石川県地場産業振興センター（石川県金沢市）

テーマ：変革の時代に求められる公衆衛生看護を考える：健康危機を超えた未来へ

プログラム：会長講演／基調講演／特別講演／シンポジウム／パネルディスカッション／公衆衛生看護セミナー／特別企画展示／市民公開講座／一般演題／ワークショップ／会員集会／共催セミナー／企業展示／ほか

演題・交流集会登録：6月1日（日）～8月31日（日）（予定）

参加登録：〔前期〕6月1日（日）～9月30日（火）、〔後期〕11月10日（月）～2026年1月31日（土）

参加費：〔前期〕会員1万円、非会員1万1000円、〔後期・当日〕会員1万1000円、非会員1万2000円、学生（社会人院生を除く）5000円

問い合わせ先：運営事務局

株式会社ユピア

E japhn14@yupia.net

TEL 052-872-8101

FAX 050-3737-7331

URL <https://japhn14.yupia.net/>

掲載情報は4月25日現在のものです。最新の情報は主催者にお問い合わせください。

本欄へ掲載を希望する学会・研究会・講演会などのお知らせがありましたら、本誌編集室までお送りください。

E hokenshi@igaku-shoin.co.jp